

樹木をとりまく微生物のはなし

内容

「樹木」と「微生物」は、様々な形でお互いがかかっています。例えば、われわれの食卓をにぎわすキノコ類も、樹木あるいは木材から栄養を受け取ることで子実体（キノコの傘の部分）が発生し「きのこ（木の子）」となりますし、樹木の中には、マメ科植物のようにある微生物と共生して「根粒」をつくり、その微生物から窒素の供給を受けることで、他の樹木よりも優先的に成長できるものもあります。もちろん、森のなかで樹木（木材）を分解し、地球上の炭素循環を支えるのも微生物の役割です。

本講義では、このような樹木を取り巻く微生物を紹介し、少し化学的な話も加えながら解説します。また、応用研究として、これら木材を分解する微生物が産生する酵素による環境汚染物質の分解についてもご紹介します。